

衆議院安全保障委員会ニュース

平成 28. 1. 13 第 190 回国会第 1 号

1 月 13 日（水）、第 1 回の委員会が開かれました。

1 左藤委員長から就任の挨拶が行われました。

2 理事の辞任及び補欠選任

- ・理事の辞任を許可し、補欠選任を行いました。

辞任 理事 門 山 宏 哲君（自民）

理事 金 子 万寿夫君（自民）

理事 佐 藤 茂 樹君（公明）

補欠選任 理事 江 渡 聡 徳君（自民）（理事新藤義孝君去る 12 月 24 日委員辞任につきその補欠）

理事 玉 木 雄一郎君（民維ク）（理事大串博志君去る 4 日委員辞任につきその補欠）

理事 大 塚 拓君（自民）（理事金子万寿夫君今 13 日理事辞任につきその補欠）

理事 山 口 壯君（自民）（理事門山宏哲君今 13 日理事辞任につきその補欠）

理事 伊 佐 進 一君（公明）（理事佐藤茂樹君今 13 日理事辞任につきその補欠）

理事 青 柳 陽一郎君（民維ク）（去る 4 日の議院運営委員会における理事の各会派割当基準の変更に伴う選任）

3 国政調査承認要求に関する件

- ・国の安全保障に関する事項について、国政調査承認要求をすることに協議決定しました。

4 防衛省の職員の給与等に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第 6 号）

- ・中谷防衛大臣から提案理由の説明を聴取しました。
- ・中谷防衛大臣、黄川田外務大臣政務官、熊田防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成—自民、民維ク、公明、共産、社民、武藤貴也君（無） 反対—おおさか、吉田豊史君（無））

（質疑者及び主な質疑内容）

大 塚 拓君（自民）

- ・今般の防衛省職員給与法の一部改正による給与等の引上げが自衛官の士気に与える影響はどの程度になると考えているのか、中谷防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中で、自衛官の任務も多様化・複雑化していることから、諸手当の拡充や栄典・礼遇などで自衛官を適切に処遇すべきであると考えますが、現状及び今後の取組について、中谷防衛大臣に伺いたい。
- ・日韓間では直接の軍事秘密情報の共有がされていない状況であるが、昨年末からの日韓関係改善の動きに合わせて、日韓間の軍事情報包括保護協定（GSOMIA）を締結すべきと考えますが、中谷防衛大臣の見解を伺いたい。

伊 佐 進 一君（公明）

- ・予備自衛官及び即応予備自衛官の充足率が 6 割前後という状況にある中で、その充足率向上のため、今後どのように取り組んでいくのか、防衛省に伺いたい。
- ・安倍政権の「新 3 本の矢」で打ち出された「希望出生率 1.8」や「介護離職ゼロ」の実現に向けた目標は、自衛官に対しても適用されるのか、防衛省の考えを伺いたい。
- ・平和安全法制の整備により、南シナ海やその他の地域での自衛隊の警戒監視活動が可能になったとの見解があるが、同法制の整備により警戒監視活動の任務や法的根拠は拡大されたのか、中谷防衛大臣に伺いたい。

玉 木 雄一郎君（民維ク）

- ・平成 15 年に防衛出動手当が導入されて以降、いまだその額が決められていないが、存立危機事態に係る防衛出動も整備された中、防衛省はいつまでに結論を出す予定なのか、中谷防衛大臣に伺いたい。
- ・平和安全法制が本年 3 月に施行されるが、南スーダン PKO に派遣している自衛隊部隊に駆け付け警護業務を付与する時期の見通しについて、中谷防衛大臣に伺いたい。
- ・平成 25 年 9 月に海上自衛官が上官らによる日常的な暴力を理由に潜水艦「そうりゅう」内で自殺未遂をした事案について、当該事案に係る調査結果や事案に関与した上官らの処分内容をこれまで公表してこなかった理由について伺いたい。

青 柳 陽一郎君（民維ク）

- ・自衛官の適切な処遇を検討するに当たっては、外部の意見を取り入れて公平かつ公正なものとするために、防衛省に設置されている防衛人事審議会を活用すべきと考えるが、中谷防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・2 年連続で国家公務員の月例給及びボーナスの引上げが行われるのは 24 年ぶりのことであり、また、国家公務員給与の方が民間給与より上回っているというのが国民一般の感覚ではないかと考えるが、我が国の厳しい財政状況の中で、このように人事院勧告どおり一般職国家公務員の給与の引上げを行うことについての中谷防衛大臣の所感を伺いたい。
- ・昨年 12 月の日韓外相会談後の共同記者発表により日韓間の慰安婦問題は最終的かつ不可逆的に解決されることが確認されたが、韓国政府が設立する財団に対する我が国の約 10 億円拠出のタイミングは、在韓国日本大使館前の「慰安婦像」の撤去後となるのか、外務省に伺いたい。

赤 嶺 政 賢君（共産）

- ・米軍普天間飛行場移設問題に関連して「安全保障にかかわること等については国全体で決めることでありまして、これは一地域の選挙で決定するものではない」との昨 12 日の衆議院予算委員会での安倍内閣総理大臣の答弁について、中谷防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・平成 27 年 11 月、若宮防衛副大臣が中山石垣市長に対し石垣島への陸上自衛隊の部隊配備方針を表明したが、具体的に配備しようとする部隊の概要について伺いたい。
- ・尖閣諸島周辺海域において無害通航に該当しない航行を行う外国軍艦への対処の際、石垣島への配備を検討している地对艦ミサイル部隊等はどのような行動をとるのか、中谷防衛大臣に伺いたい。

下 地 幹 郎君（おおさか）

- ・自衛官を含む国家公務員は、週休二日制及び有給休暇制限により年間 141 日間の休暇を取得することができるが、自衛官は一般職国家公務員と同程度の休暇を取得することができる勤務態勢なのか、防衛省に伺いたい。
- ・官民比較に基づく人事院勧告を尊重した一般職国家公務員の給与改定に準じて行う自衛官の給与改定について、両者は勤務態勢及び勤務時間を始めとして、様々な点が異なっていることから、特別な諸手当等を付与するだけではなく、自衛官独自の給与体系を構築すべきはないのか、中谷防衛大臣の見解を伺いたい。

照 屋 寛 徳君（社民）

- ・平成 25 年 9 月に発生した潜水艦「そうりゅう」内での海上自衛官の自殺未遂事案について、これまで事案や処分等の内容を公表しなかった理由について中谷防衛大臣に伺いたい。
- ・護衛艦「さわぎり」「たちかぜ」いじめ自殺事案（平成 11 年及び 16 年）、潜水艦「そうりゅう」自殺未遂事案（平成 25 年）と、相次ぐ海上自衛隊におけるいじめなどの服務事案を受けて、防衛省において服務事案防止を目的とした部外有識者を含む第三者委員会を設置すべきと考えるが、中谷防衛大臣の見解を伺いたい。